



## 地域交通アドバイザーの交通診断！ 地域に合った移送サービスを住民目線で考えました

問い合わせ 介護高齢課地域包括支援センター ☎53・2111 (内線3432) 記事ID 0035493

「今はまだ困っていないけど、これから先、運転免許を返納した後が心配」と思ったことはありませんか。山北地域では集落聞き取り調査などからこのような意見がよく聞かれます。そこで今年度は、NPO法人おたすけさんほくと一緒に「山北地区の地域交通を住民目線で考える研修会」を開催しました。

講師に、全国で地域交通を手掛けるアドバイザーでNPO法人いわて地域づくり支援センター常務理事の若菜千穂氏とNPO法人都岐沙羅パートナーズセンター事務局長の斎藤主税氏を招き、講演会に行われた地域住民や交通事業者、行政へのヒアリング調査を基にしたご講演をいただきました。

講師からは「住民同士の『お互い様送迎』がまだ多く残っており支えあいが必要」という「人口減少が進む地域だが、バス路線も多く残っており、事業者や行政の努力が見える」「ニーズ（こんな交通手段があったらいいな）と需要（お金を払っても利用したい）は一致しない」などのお話がありました。

また、ポイントとして、買い物手（住民）良し、売り手（交通事業者）良し、世間（行政）が良しの「三方よし」に



▲講演を聴講する参加者

ならないと進まない。そのためにはまずお互い（三者）が理解し合うことが大切だと話していました。

さんぽく互近所ささえる隊は、この研修会を通して他団体メンバーと共に結成した「地域交通検討チーム」の一員として、これからも山北地域に合った移送サービスの在り方を考えていきます。



## 新潟県電機商業組合村上支部と 地域の見守り活動に関する協定を締結しました

問い合わせ 介護高齢課高齢者支援室 ☎53・2111 (内線3420) 記事ID 0063736

12月15日、地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることを目指し、新潟県電機商業組合村上支部と「地域の見守り活動に関する協定」を締結しました。

この協定により、地域の要配慮者と接する機会のある事業所と市が連携することで見守り体制を強化でき、速やかに適切な支援に繋げることができま

### 新潟県電機商業組合村上支部加盟店

- （有）不二屋商店
- フジイデンキ
- パナ・コスモシンキョウ
- 電政社
- 瀬賀電化センター
- ライフネット 光洋
- 旭電工（株）
- 前田デンキ店
- 山北電器サービス電設部
- ライフネット ほんだ
- 相馬電機商会
- 藤井時計店
- しげる電機
- 電化のサクラライ
- タカ才電気店
- オオタキ電機
- （有）サウンドワクイ



▲左から本田直也副支部長、菅良博支部長

